

- 1 対象病院名： 南砺市民病院
- 2 実地調査実施日：令和5年1月19日(木)
- 3 全体評価※： (B)
- 4 全体のまとめ

南砺市民病院は国際的医療機能評価機関（JCI）の認証を2021年に取得し、医療安全管理体制が適切に確保されている。研修医は研修開始から6ヶ月間内科で研修を行い、指導医や上級医とともに外来患者や入院患者を担当し、主治医としてファーストコールも経験することにより、救急から病棟、在宅に至るまで首尾一貫して研修できる体制で、医師として基本的な診療能力（知識、技能、態度）を身に付けることが可能である。さらに、残りの18ヶ月間は各人の研修スケジュールに応じて、南砺市民病院での研修はもちろんのこと、地域の協力研修病院、協力研修施設で研修を実施することにより、研修を行うのに十分な症例や研修にふさわしい環境が整備されている。**実地調査の結果、適切な指導体制が確保され、かつ、研修医が基本的な診療能力を修得することが可能であると認められることから基幹型臨床研修病院の指定を継続する。**ただし、「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」（平成15年6月12日医政発第0612004号）第2の5（1）の基準を2年以上にわたり満たさない場合は、指定の継続後も実地調査を行い、適正を確認する。

1. 臨床研修病院の指導管理体制に関する事項

1) 研修を行うのに十分な症例や研修にふさわしい環境が整備されているか

① 医療安全管理体制が適切に確保されている(省令の施行通知に定める医療安全管理体制の確保に関する要件を満たしている)	○
② 検査・処置などが安全に実施出来ている	○
③ 「基本的な臨床検査・手技」について、23項目中(○:16以上の、△:4~15、×:3以下の)項目で自己評価がB以上である*	○
④ 同上「経験症例数」について、37項目中(○:22以上の、△:5~21、×:4以下の)項目で6例以上の経験がある*	△
又は同上「経験症例数」について、55項目中(○:33以上の、△:7~32、×:6以下の)項目で6例以上の経験がある*	△
⑤ 図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	○

<所見>

①国際的医療機能評価機関(JCI)の認証を2021年に取得しており医療安全管理体制が適切に確保されている。

2) 研修医の診療内容や説明について、指導医等から適切な助言・指導が行われているか

① 上級医の回診や症例検討会(ケースカンファレンス)が定期的に行われている(○:週1回以上、×:実施はまれ、△:それ以外)	○
② 指導医が適切に診療録を確認している	○
③ 診察の結果、適切な診断を行っている	○
④ 退院や退院後の方針の決定が適切になされている	○

<所見>

④退院や退院後の方針が退院サマリーや診療情報提供書により適切になされている。

3) 臨床研修が組織的・計画的に行われ、管理体制が適切に確立されているか

- | | |
|--|---|
| ① 研修管理委員会が適切に運営されている(省令の施行通知に定める研修管理委員会に関する要件を満たしている) | ○ |
| ② 研修医の評価が、EPOCまたは到達目標の達成状況について指導医による評価が明示された調査票等を使って適切に行われている | ○ |
| ③ 複数の医療職種による評価が行われ、当該評価が明示された調査票等に基づき、少なくとも半年に1回の研修医へのフィードバックが行われている | ○ |
| ④ 臨床研修病院群の中で、臨床研修に関する情報の共有等臨床研修に関して機能的な連携・調整が行われている | ○ |

<所見>

①臨床管理委員会が適切に運営されていることを議事録、規約にて確認した。

2. 研修医の基本的診療能力に関する事項

1) 患者・家族や他の医療従事者と十分なコミュニケーションをとり、良好な関係を築いているか

- | | |
|--|---|
| ① 入院中の診察内容・診断について、患者・家族に適切に説明している | ○ |
| ② 診療において、他の医療従事者と適切なチーム医療が出来ている | ○ |
| ③ ハイリスクの治療・検査において「説明と同意」が行われたことを診療録に記載している | ○ |

<所見>

③研修医症例プレゼンテーションにより説明と同意が診療録に記載がなされていることを確認した。

2) 患者の問題を把握し、検査や治療の計画の全体像を把握して診療にあたり、臨床上の疑問を解決するための自己学習の習慣が身についているか

- | | |
|---|---|
| ① 入院の目的を正しく理解している | ○ |
| ② 診療録の記載が適切(現病歴・既往歴・家族歴や身体診察の所見等の基本情報が適切に記載されている) | ○ |
| ③ 検査計画や治療計画が適切に立てられている | ○ |
| ④ 退院時サマリーが適切に記載され、提出期限が守られている | ○ |
| ⑤ 研修医が臨床上の疑問を解決するための情報収集方法を知っており、実践している | ○ |

<所見>

研修医インタビュー時に、電子カルテにて退院時サマリーが適切に記載されていることを確認するとともに、提出期限が守られていることを確認した。

※特記のない限り、○:適切、△:概ね適切、×:不適切として記入

※全個別項目の評価が“○”の場合はA、1項目でも“×”評価を受けた場合はC、過半数の評価が“△”であれば、B-、これら以外はB評価